議案第31号

特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり制定する。

令和4年3月24日提出

加西市長 西村 和平

特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例（昭和42年加西市条例第17号）の一部を次のように改正する。

第3条第3項中「100分の222.5」を「100分の215」に改める。

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（令和4年6月に支給する期末手当に関する特例措置）

2 令和4年6月に支給する期末手当の額は、改正後の特別職に属する常勤の職員の給与に関する条例第3条第3項の規定にかかわらず、同条同項の規定により算定される期末手当の額から、令和3年12月に支給された期末手当の額に222.5分の15を乗じて得た額を減じた額とする。

(審議資料)

一般職の職員の給与に関する条例の一部改正に準じ、特別職の期末手当について所要の改正を行うもの。

【概要】

(1) 特別職の期末手当の改正

特別職の期末手当の支給月数を0.15月分引き下げる。(年間4.45月→4.30月)

	6月期	12月期
4年度以降	2.15月 (2.225月)	2.15月 (2.225月)

() 内は去年の月数

(2) 令和4年6月に支給する期末手当の特例措置

- ・改正後の率により算定された期末手当の額から、令和3年12月に支給された期末手当の額に、222.5分の15を乗じて得た額を減じる。